

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.333.2021



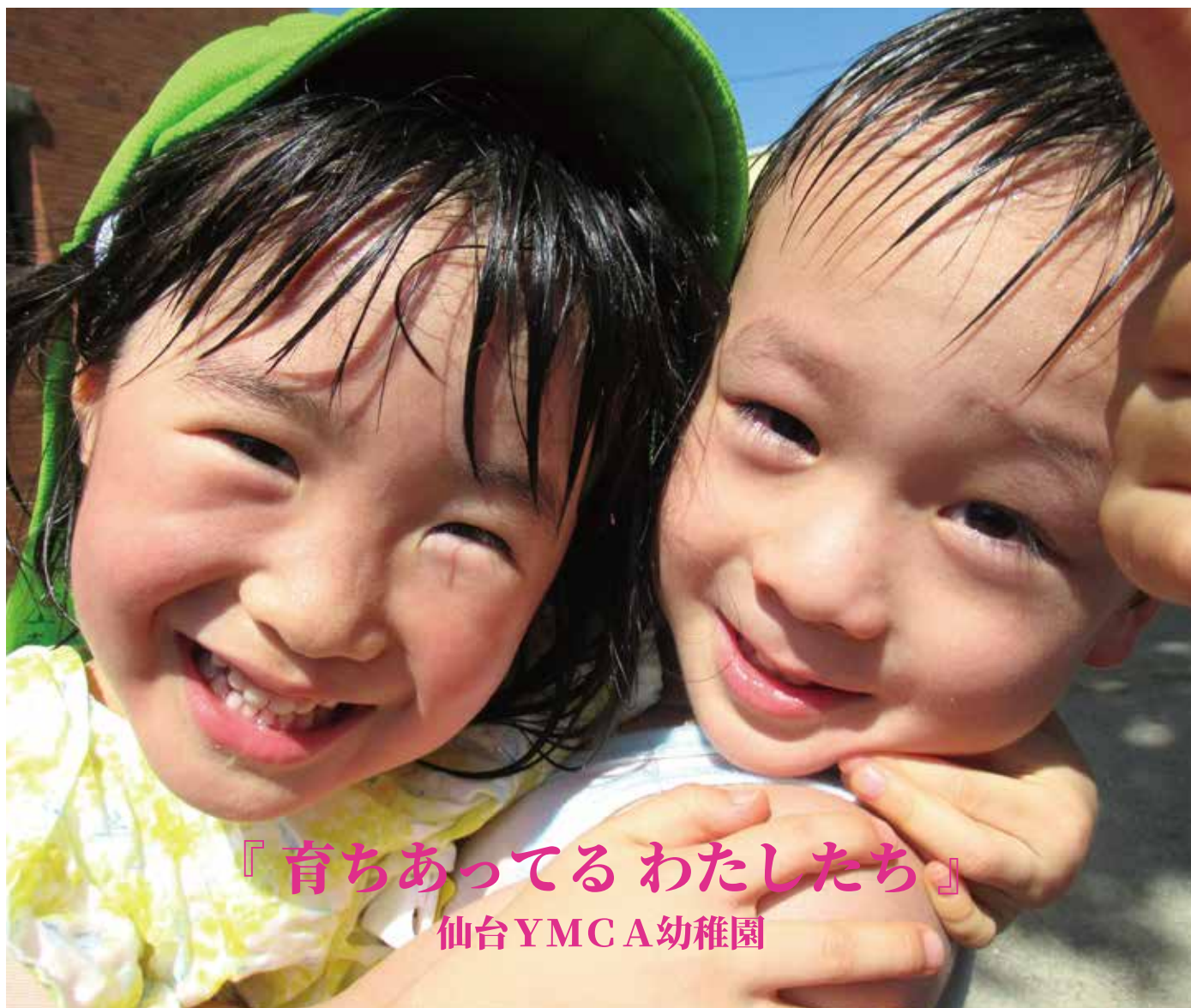
# 仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



2021年9月15日発行

公益財団法人仙台YMCA  
〒980-0822  
仙台市青葉区立町9-7  
Tel 022-222-7533  
Fax 022-222-2952  
www.sendai-ymca.org  
発行人 / 村井伸夫  
編集人 / 松島晃子



## 『育ちあってるわたしたち』

仙台YMCA幼稚園

仙台YMCA幼稚園には朝7時30分から、元気な声を響かせながら次々と園児が登園してきます。「行つてらっしゃい。」「早く迎えに来てね。」「タッチしてー!」「ギューもしてー!」...

これは一生のお別れなのかしら?と思うほどの親子のバイバイタイムに胸が温まります。

日中の子どもたちは実に大忙しです。虫を探さなければいけないし、探した虫は図鑑で調べたくなるし、数に限りのある虫かごをどうやって使おうかと頭を使わなければいけない。昨日作った砂場の工事現場の続きもしたいし、向こうで仲間たちが楽しんでいる鬼ごっこにも加わりたい...

『えーもう片付けの時間?』

これは毎日聞かれる言葉です。そうやって許される限りの時間を遊びつくして1日が過ぎ、午後7時15分には全員が大好きなお家の人と一緒に帰路につくのです。なんて一生懸命に生きていく子どもたち

なのでしょう。う。そうです。子どもの育ちはいつだって『遊ぶこと』で体現化されているのです。



(第2面へ続く)



## 何事にも時があり

### 天の下の出来事にはすべて定められた時がある

大人はしばしば、子どもが何かをできるようになった時や上達した時、あるいは良くないことをしなかった時...で成長を感じたくなります。それは油断すると、私たち保育者でさえそのような考えに陥りそうになる時があります。しかしこんなにも日々の中で一生懸命に生きている子どもたちに触れると、その考えがいかに浅いものだったかと都度気づかされます。神さまが与えてくださった命がここに集い、日々育ちあっているのです。



コヘレトの言葉に次のような句があります。

「何事にも時があり 天の下の出来事にはすべて定められた時がある」

園児たちの日常は、楽しくて笑顔でいられる時間だけではありません。時にぶつかり、挫け、悔しさや悲しさをどう消化したらよいかと戸惑う出来事があります。そんな時に保育者ができることはなんだろうと考えます。それは、無理やり笑わせるのではなく、その場で謝らせたり仲直りさせることよりももっとずっと大事なことです。想いに寄り添いながら時がくるのを待つことなのです。御言葉を信じるなら、いつかきっと楽しく過ごせる時がくるであろうと希望をもち、その時を見定めながら日々を過ごしているのです。

コロナ禍で、子どもたちの声が響くこの幸せな空間にも、常に新型コロナウイルスがすぐ隣で息をひそめています。子どもたちにぜひ経験してほしい行事や保育内容も、形を変えたこともありました。

しかしいつでも、子どもたちはもちろん、私たちのことも見守り、成長させてくださっているのは神さまであり、保護者の皆さま、地域の皆さまでした。温かいまなざしが溢れるこの幼稚園で、今日もわたしたちは育ちあっています。

(報告：仙台YMCA幼稚園 / 伊藤 朋子)



## 仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわがを東北の地に広げるための活動を行います。

### 共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

### 世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

### 地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

### ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。

### 子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

## 『YMCAと出会って』（職員/齋藤 早苗）

私はYMCAの運営受託になる前から富ヶ丘児童クラブに勤務していました。富谷市からYMCAの運営に変わるにあたり、スタートの準備から参加させてもらいました。そこからYMCAと出会って5年が経ちました。

今思い返すと、たくさんの準備がある中、「こちらで進めていいか」など、一つ一つ確認し合い、通常業務を行いながら、次の新しい場所での準備をするのは初めてのことで戸惑うことが多かったのを思い出します。

準備をするために一つ一つYMCAの職員の方と連絡を取りながら進めました。「困ったこと等あったらいつでも連絡をください。」とっていただき安心したと同時に心強く感じたことを覚えています。

開所後も細かく丁寧に話し合えたことが信頼の基礎となっています。そして、今も変わらず続いています。

私はYMCAの「相手のありのままの今を受け入れる」というのは職員に対しても、子どもたちにも保護者の方にも共通することで共感できます。少しくじけそうになったり、辛くなったりするときもあります。「今の私はここが弱いなあ。こうすれば良かったなあ。」と自分を振り返り、今の自分を受け入れるようになりました。

「できること・できないこと・苦手なこと」は誰でもあること。しかし、今日児童クラブに来て、職員や子どももみんなと過ごせてよかったなあと毎日感じながら過ごしています。

私の「苦手なこと・できないこと」をフォローしてもらいながら、長いような、短いような5年が過ぎました。かわいい子どもたちと一緒に働く職員からたくさんのことを学んでいます。たくさんの皆さんに出会えたことに感謝しながら今日も笑顔で児童クラブを過ごしています。



## Volunteer Volunteer Volunteer



リーダー  
安川 ちひろさん

YMCA南大野田保育園を卒園し、キャンプもいくつか行き、高校生の頃にリーダーになろうと決め、大学の合格が決まるとすぐに電話をかけました。初めはキャンプに行くだけのつもりが、子どもたちとYMCAをどんどん大好きになっていき、参加するプログラムが増えてYMCAで過ごす時間が多くなっていきました。

どの活動でも、大好きな子どもたちに会えるのがとても嬉しいです。会う回数が増えるたびに仲良くなれるのが嬉しくて、「ちひろリーダー！」と名前を呼ばれるのが嬉しくて、一緒に笑いあえるのが嬉しくて、どんどん大きくなっていく姿を見ることができるのが嬉しくて、YMCAで子どもたちと過ごす時間が本当に大好きです。子どもたちと一緒に自然を探索したり、プールで遊んだり、サッカーで試合をしたり、海に入ったりスキーをしたり、本当に楽しいです。

子どもたちは、時にはお友だちと喧嘩をしたり、大人に叱られるようなこともありながら、いろんなことを見つけ、考え、日々成長していました。私自身も、子どもたちと一緒に過ごす中で新しい発見や考えさせられることがたくさんあり、リーダー活動を通じて成長することができました。子どもたちだけでなく、スタッフやリーダーもみんな素敵な人で、いつでも私に寄り添ってくれる人がいてくれることに本当に感謝しています。

先日、就職先が決まった時、嬉しさと同時に感じたのは、もう今のようにYMCAでリーダーとして子どもたちと過ごすことができなくなるのか、という気づきと寂しさでした。急に芽生えたこの気持ちが、改めてYMCAへの愛を実感させてくれました。卒業までの残り6ヶ月を大好きな子どもたちと一緒にいられることに感謝をしながら過ごし、来春からはこの4年でできた本当にたくさんの素敵な思い出を胸に、これからも子どもたちが健やかに成長していけるように願いながら、新しい道を進んでいこうと思います。そして、たまにはYMCAに「ただいま」と帰ってきたいです。

## 『第24回仙台YMCAチャリティゴルフ開催に向けて』

実行委員長：菅野 健 さん（仙台広瀬川ワイズメンズクラブ）



仙台YMCAには会員並びに市民の皆さんを対象にしたいくつかの特別活動がありますが、昨年は、新型コロナウイルスの影響により、中止や形を変えての開催を余儀なくされました。中でもチャリティゴルフは長年にわたり支えていただいている、さとう音楽事務所様や泉国際ゴルフ倶楽部様をはじめ、ご協賛各社様や個人様のご協力もあり、規模を縮小する形ではありましたが無事に開催することができました。

仙台YMCAチャリティゴルフの歴史は1998年に西仙台カントリーから始まりました。そして泉国際ゴルフ倶楽部へ会場を移し多くの皆様からの支えの元、今年で24回を数えるまでになりました。チャリティゴルフでは、参加者の皆様に趣旨をご理解いただき、参加費等のチャリティを、水の事故から子どもたちの安全をまもる『ウォーターセーフティハンドブック』を贈る資金、全国YMCAリーダー研修会参加費用助成、仙台YMCA子ども支援基金として役立たせていただいております。オリンピックのメダルラッシュに日本各地が湧く中で、今年も悲しいですが水難事故で尊い命が失われてしまうニュースが報道されています。子どもたちの尊い命を守るためにもこのウォーターセーフティハンドブックの配布を今後とも続けていきたいと思っております。また、会場の泉国際ゴルフ倶楽部は、今年のマスターズで優勝した松山英樹選手が学生時代に練習をしていたゴルフ場です。宮城県内でも有数のゴルフ場ですので参加していただく方々にも最高の環境でプレーしていただけることでしょう。第24回仙台YMCAチャリティゴルフの実施にあたり、皆様からの協賛品等のご協力を何卒宜しくお願い致します！

## 維持会費

(7月5日～9月3日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

## ◆一般会員

## ・維持会員

加藤重雄さん  
加藤真子さん  
本野日出子さん  
横倉 純さん  
持田二郎さん  
岸田清実さん  
原田 享さん  
菊地幸子さん  
尾木進一さん  
尾木恵美子さん  
吉田一恵さん  
工藤悦子さん

鵜浦正臣さん  
佐々木絹子さん  
南澤一右さん  
高篠伸子さん  
田村治之さん  
長谷川美津子さん  
寺山洋土さん  
橋本 章さん  
岡 久雄さん  
菊地弘生さん

## ◆法人会員

有限会社  
けやき会計事務所

## ◆サポート会員

三浦龍昌さん  
中條 仁さん

「第27回仙台YMCAインターナショナル  
・チャリティーラン2021」

## 中止のお知らせ

2021年9月23日(祝)に予定されていたチャリティーランですが、新型コロナ感染拡大予防のため中止となりました。代替プログラムとして、グッズ販売を行い益金を支援先に寄付するべく準備を進めております。詳しくはホームページ等でご案内いたします。

## 「仙台YMCAバザー」中止のお知らせ

2021年10月10日(日)に予定されていたバザーですが、新型コロナ感染拡大予防のため中止となりました。代替プログラムとして各施設でミニバザー等を行い、益金を支援先に寄付する予定です。ミニバザー実施期間や内容に関しましては各施設にお問い合わせください。引き続きバザーの献品は続けております。こちらもご協力をお願いいたします。

一般会員・サポート会員を  
随時募集中です

ぜひ会員として、

仙台YMCAの活動をお支えください

お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952